

※取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさの程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を **⚠️ 警告**・**⚠️ 注意** の2つに区分しています。

⚠️ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠️ 注意：人が傷害を負う可能性および物的被害のみの発生が想定される内容。

絵の表示については次のような意味があります。



分解禁止



アースを取付ける



一般的な事項



接触禁止

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠️ 警告

- ⚠️ 修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常動作のためけがをすることがあります。
- ⚠️ アースを確実に取付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- ⚠️ AC100V以外では使用しないでください。
- ⚠️ 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が行ってください。
- ⚠️ メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付けてください。漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります。
- ⚠️ 本体とダクトは可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。火災などの原因となります。

⚠️ 注意

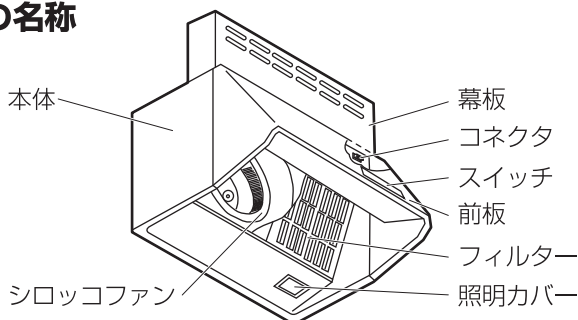
- ⚠️ 運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れないでください。ファンや部品の取付けは確実に行ってください。落下によりけがをすることがあります。
- ⚠️ 必ず手袋を着用し、取付け作業を行ってください。
- ⚠️ 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因となります。
- ⚠️ レンジフードに荷重がかからないようにしてください。落下するおそれがあります。

■ 取付け時のご注意 (排気工事をされる場合建築基準法および消防法等の関連法規にあわせて施工してください。)

- ① レンジフードファンの取付けは、漏電に対する十分な配慮を行ってください。
 - ② 温度が高くなりすぎると製品の故障の原因になります。図の寸法が守られているか確認してください。またガス湯沸器の真上に取付けないでください。
-
- ③ レンジフードの幅より狭い調理器具をご使用ください。
 - ④ 排気ダクトは、φ150mmをご使用ください。排気口までの距離が長かったり、ダクトが変形している場合、性能が低下するおそれがありますのでご注意ください。
 - ⑤ 40℃以上の高温になる場所、薬品を使う場所には取付けしないでください。故障や感電の原因になります。

- ⑥ 排気ダクト(パイプ)と排気口との間は、ソフトテープで隙間をふさいだ後、アルミテープでテーピング処理を行ってください。
-
- ⑦ 排気ダクト(パイプ)は、室外から水等が流れ込まないように勾配を取ってください。
 - ⑧ 気密性の高い部屋では、レンジフードを動作させた際にドアなりやストーブの異常燃焼が起こるおそれがあります。そうでない部屋であっても吸気には十分な配慮をしてください。
-
- ⑨ 取付け後は、養生材をかぶせてください。内装工事で汚れるおそれがあります。
-

■ 各部の名称

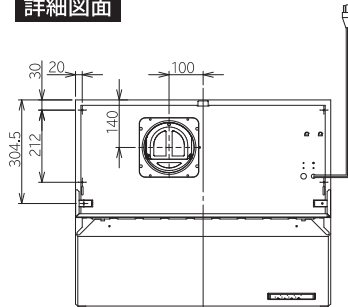


■ 付属品

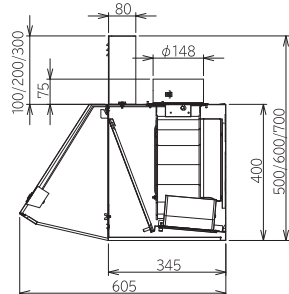
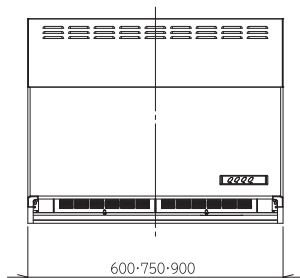
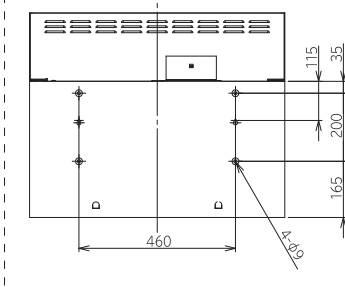
名称	略図	数量	内容
木ねじ		2	本体仮取付けに使用します。
座付木ねじ		4	本体取付けに使用します。
排気口		1	本体とダクトの接続に使用します。逆風防止ダンパー付です。

製品寸法図

詳細図面



背面図



取付方法

取付け前の準備と確認

取付け面の準備

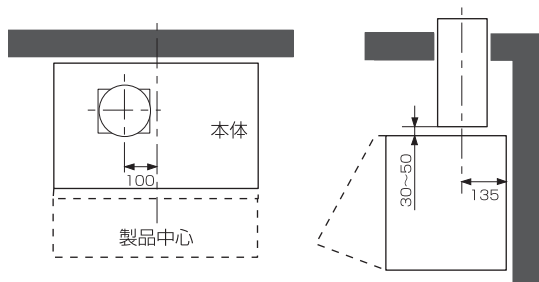
製品を取付ける面には、製品の重量を支える強度が必要です。製品の重量が支持できる面に取付けてください。

間口 60/15kg	間口 75/17kg	間口 90/19kg
------------	------------	------------

- ① 下地板厚は20mm以上のものにしてください。できない場合は、角材などの下地で補強してください。
- ② コンクリート・タイルの壁は、補強板を埋め込むか、アンカーボルトを使用してください。
- ③ 土壁は、補強用の角材を柱などに固定して、埋め込んでおいてください。
- ④ 左右側方、後方への排気が必要な場合は、ダクトで行ってください。ジョイントスペースが確保できない場合はL型ダクト(別売)をご使用ください。

排気ダクト(パイプ) の取付け

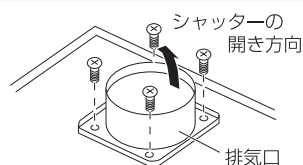
- ① 製品寸法図を参照して吐出口の位置に壁穴を開けてください。
- ② φ150mmのステンレス管、またはスパイラル管(市販品)をレンジフードの上面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。



排気用部品の準備

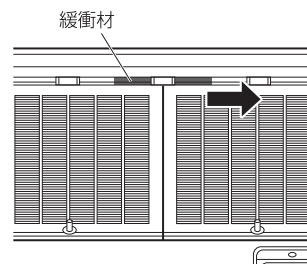
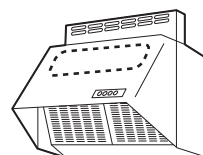
上方排気の場合

- ① 排気口は本体上面に取付ねじ4本で取付けてください。取付方向に注意してください。



製品の取付け準備

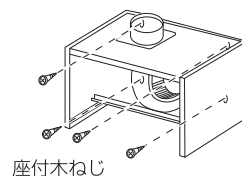
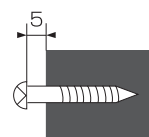
- ① コネクタを取外す
つめ部を押しながら引きぬいてください。
- ② 緩衝材を取外す
フィルターと本体の間に緩衝材が1本または2本ありますので、横にスライドさせ取外します。



- ③ フィルターを取外す
フィルターの取っ手を上に持ち上げて手前に引くと外れます。
- ④ 前板を取外す
取付ねじを外し、前板が取付ねじ部より外れていることを確認し、前板を少し下げると外れます。

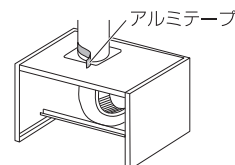
本体の取付け

- ① 本体仮止め用木ねじをねじ込みます。
製品寸法図の仮止め穴位置(左右各1ヶ所)に木ねじを壁面から5mmまで締め付けてください。
- ② 本体を取付ける
・ 本体の仮止め穴の木ねじに本体を引っかけます。
・ 本体取付用座付木ねじで4ヶ所をしっかりと締めてください。
・ 仮止めの木ねじもしっかり締め付けてください。



ダクトと排気用部品の接続

- ① ダクトと本体の風漏れ防止のため、ソフトテープで隙間をふさいだ後、アルミテープでテーピング処理を行ってください。

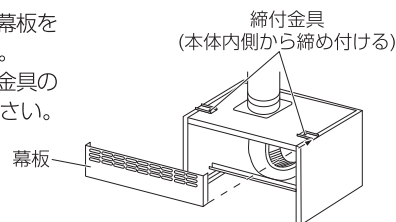


電源接続

- ① ブレーカーが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差込んでください。

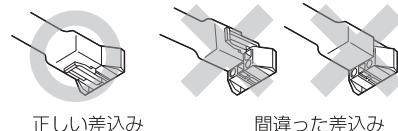
幕板の取付け

- ① 締付金具のねじをゆるめて、幕板を前方より差し込んでください。
- ② 幕板の取付位置を決め、締付金具のねじを締め付け固定してください。



組立

- ① 組立
・ 前板を取付けてください。(製品の取付け準備と逆の方法)
・ フィルターを取付け、コネクタを接続してください。その際、コネクターの向きを確認して確実に根元まで差込んでください。運転しない恐れがあります。



確認

- ① 試運転
ブレーカーを「入」にし、各操作スイッチを押して運転状態を確認してください。排気状態や振動などの異常がないか確認してください。

発売元 株式会社TJMデザイン
本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
TEL 03-3969-6836

www.tjm-rangehood.com

製品に関するお問い合わせは
株式会社TJMデザイン

03-3969-6836

【受付時間】 月曜日～金曜日 9:00～17:45 ※平日12:00～13:00/祝日・当社指定休業日を除く

修理に関するお問い合わせは

タジマメンテナンスセンター 0120-146-655

【受付時間】 月曜日～金曜日 9:00～17:30 ※平日12:00～13:00/祝日・当社指定休業日を除く